

II 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

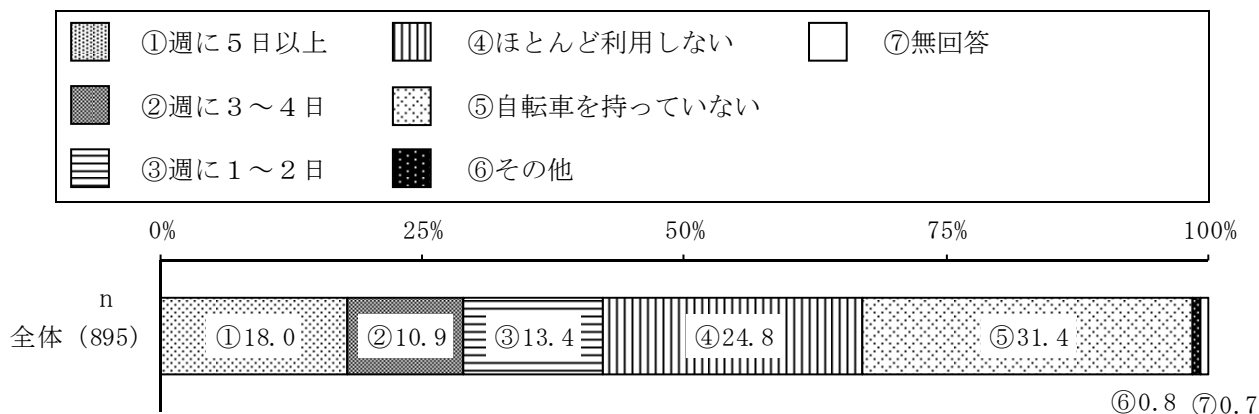
テーマ5 自転車利用について

（1）自転車の利用頻度

◎「自転車を持っていない」が3割強、「ほとんど利用しない」が2割台半ば近く

問26 普段、自転車をどの程度利用しますか。(n=895)		
1	週に5日以上	18.0%
2	週に3～4日	10.9
3	週に1～2日	13.4
4	ほとんど利用しない	24.8
5	自転車を持っていない	31.4
6	その他	0.8
	無回答	0.7

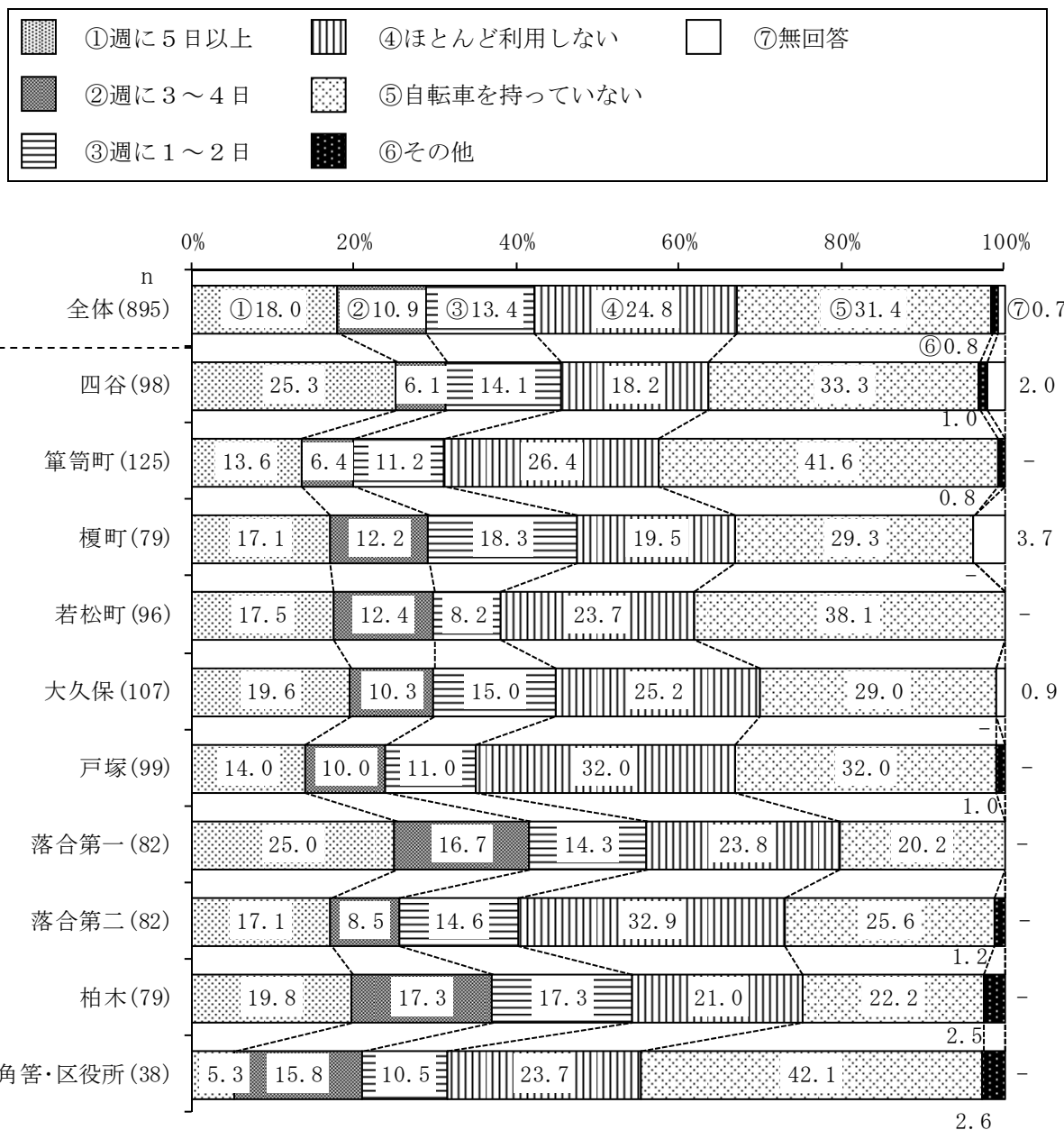
図1-5-1 自転車の利用頻度



自転車の利用頻度を聞いたところ、「自転車を持っていない」(31.4%)が3割強で最も割合が高く、以下、「ほとんど利用しない」(24.8%)、「週に5日以上」(18.0%)、「週に1～2日」(13.4%)、「週に3～4日」(10.9%)の順となっている。

「週に5日以上」、「週に3～4日」、「週に1～2日」を合わせた《週1日以上利用》(42.3%)の割合は4割強となっている。(図1-5-1)

図1-5-2 自転車の利用頻度（居住地域別）



居住地域別にみると、「自転車を持っていない」の割合は、角筈・区役所（42.1%）が4割強で最も割合が高く、笹笥町（41.6%）とともに4割台となっている。

「週に5日以上」、「週に3~4日」、「週に1~2日」を合わせた《週1日以上利用》の割合は、落合第一（56.0%）が5割台半ばで最も割合が高く、柏木（54.4%）とともに5割を超える割合となっている。（図1-5-2）

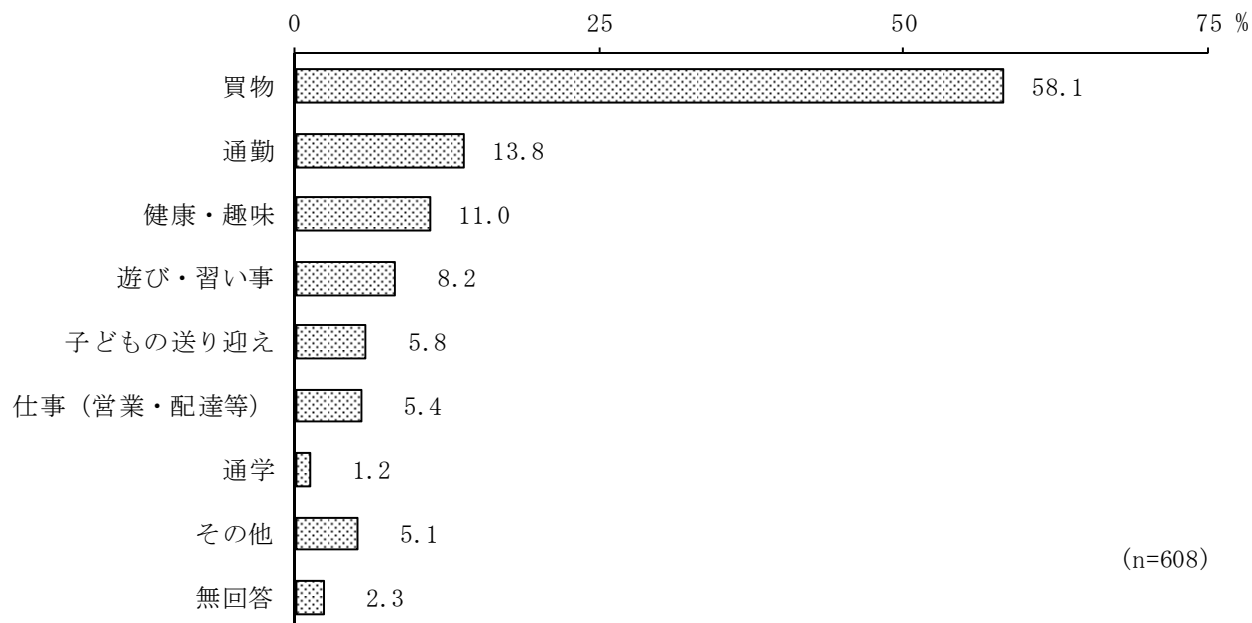
Ⅱ 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

（2）自転車の主な利用目的

◎「買い物」が5割台半ば超

問27 自転車を利用する主な目的は何ですか。(n=608)	
1 通勤	13.8%
2 通学	1.2
3 仕事（営業・配達等）	5.4
4 買い物	58.1
5 遊び・習い事	8.2
6 子どもの送り迎え	5.8
7 健康・趣味	11.0
8 その他	5.1
無回答	2.3

図1-5-3 自転車の主な利用目的



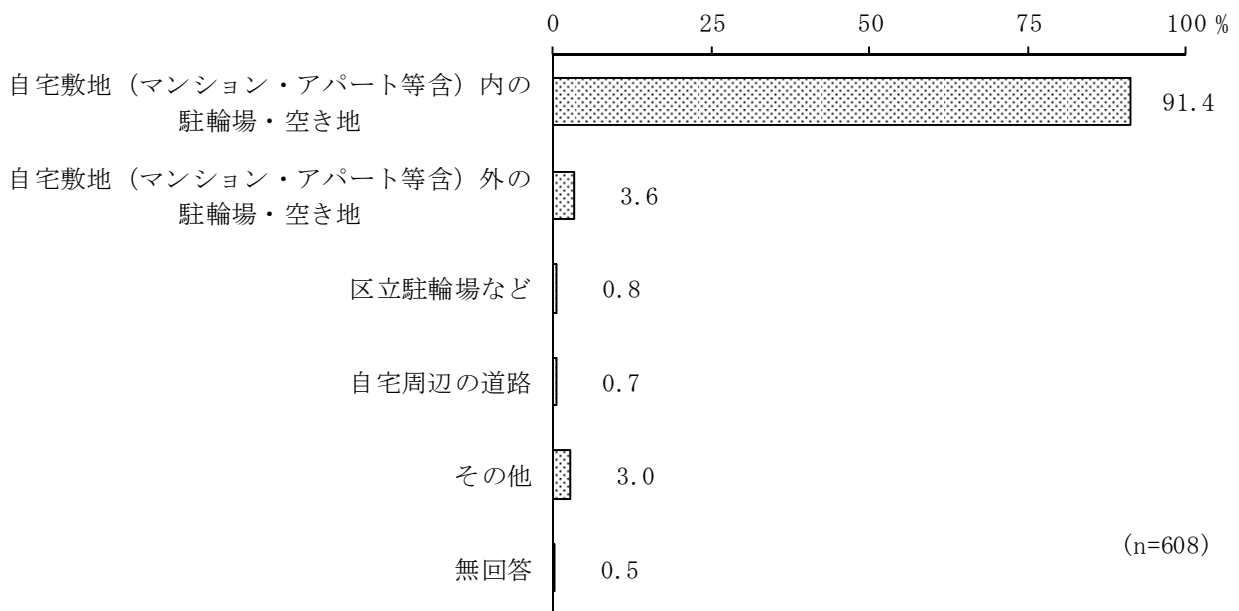
自転車の主な利用目的を聞いたところ、「買い物」(58.1%)が5割半ばを超え最も割合が高く、以下、「通勤」(13.8%)、「健康・趣味」(11.0%)と続いている。(図1-5-3)

(3) 自転車の保管場所

◎ 「自宅敷地（マンション・アパート等含）内の駐輪場・空き地」が9割強

問28 ご自宅では、日常的に自転車をどこに駐輪していますか。(n=608)	
1 自宅敷地（マンション・アパート等含）内の駐輪場・空き地	91.4%
2 自宅敷地（マンション・アパート等含）外の駐輪場・空き地	3.6
3 区立駐輪場など	0.8
4 自宅周辺の道路	0.7
5 その他	3.0
無回答	0.5

図1-5-4 自転車の保管場所



日常的に自転車をどこに駐輪しているか聞いたところ、「自宅敷地（マンション・アパート等含）内の駐輪場・空き地」（91.4%）が9割強となっている。

（図1-5-4）

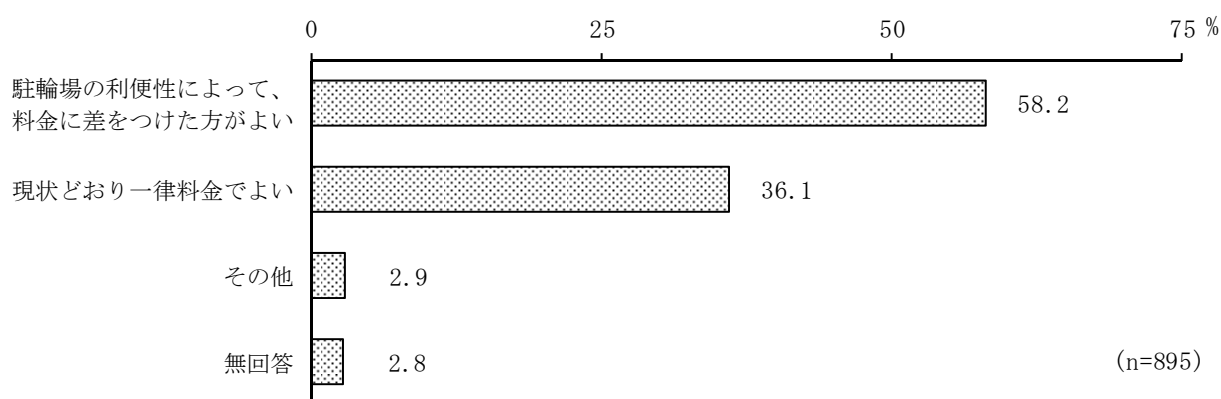
II 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

（4）区立駐輪場の利便性による料金差について

◎「自宅敷地（マンション・アパート等含）内の駐輪場・空き地」が9割強

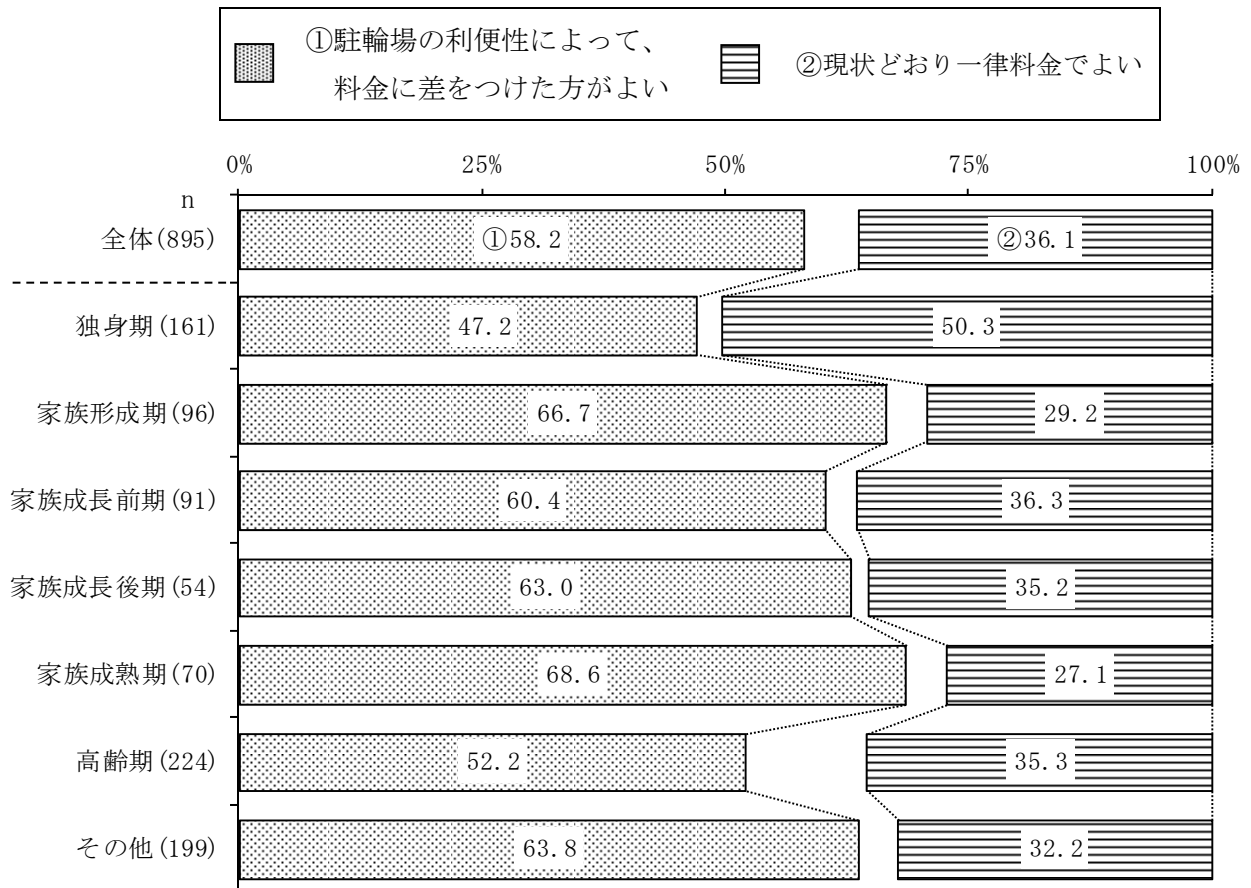
問29 現在、区立駐輪場は、一律料金になっています。駐輪場が駅に近い、屋根が整備されているなど個々の利便性によって料金に差をつけることについて、どのように思いますか。 あなたの考えに近いものを1つ選んでください。(n=895)	
1 駐輪場の利便性によって、料金に差をつけた方がよい	58.2%
2 現状どおり一律料金でよい	36.1
3 その他	2.9
無回答	2.8

図1-5-5 区立駐輪場の利便性による料金差について



区立駐輪場を、利便性により料金に差をつけることについての考えを聞いたところ、「駐輪場の利便性によって、料金に差をつけた方がよい」(58.2%)が5割台半ばを超え最も割合が高く、「現状どおり一律料金でよい」(36.1%)が3割台半ば超となっている。(図1-5-5)

図1-5-6 区立駐輪場の利便性による料金差について（ライフステージ別）



ライフステージ別でみると、「現状どおり一律料金でよい」では、独身期（50.3%）が約5割と、全体を14.2ポイント上回っている。（図1-5-6）

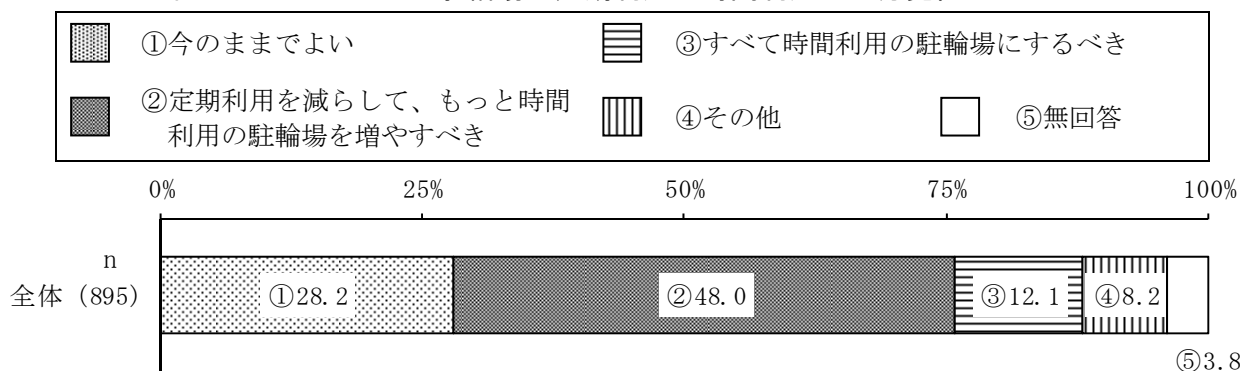
II 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

（5）区立駐輪場の定期利用と時間利用の配分見直しについて

◎「定期利用を減らして、もっと時間利用の駐輪場を増やすべき」が4割代半ば超

問30	現在、利用者から区に対して、買い物などに便利な時間利用駐輪場の整備について要望が寄せられています。区では、定期利用（全体の約90%）の台数配分を見直し、誰でも利用できる時間利用スペースを増やしていきます。これからの自転車駐輪場整備の在り方について、最も適当だと思うものは次のうちどれですか。 あてはまるものを1つ選んでください。（n=895）	
1	今のままでよい	28.2%
2	定期利用を減らして、もっと時間利用の駐輪場を増やすべき	48.0
3	すべて時間利用の駐輪場にするべき	12.1
4	その他	8.2
	無回答	3.8

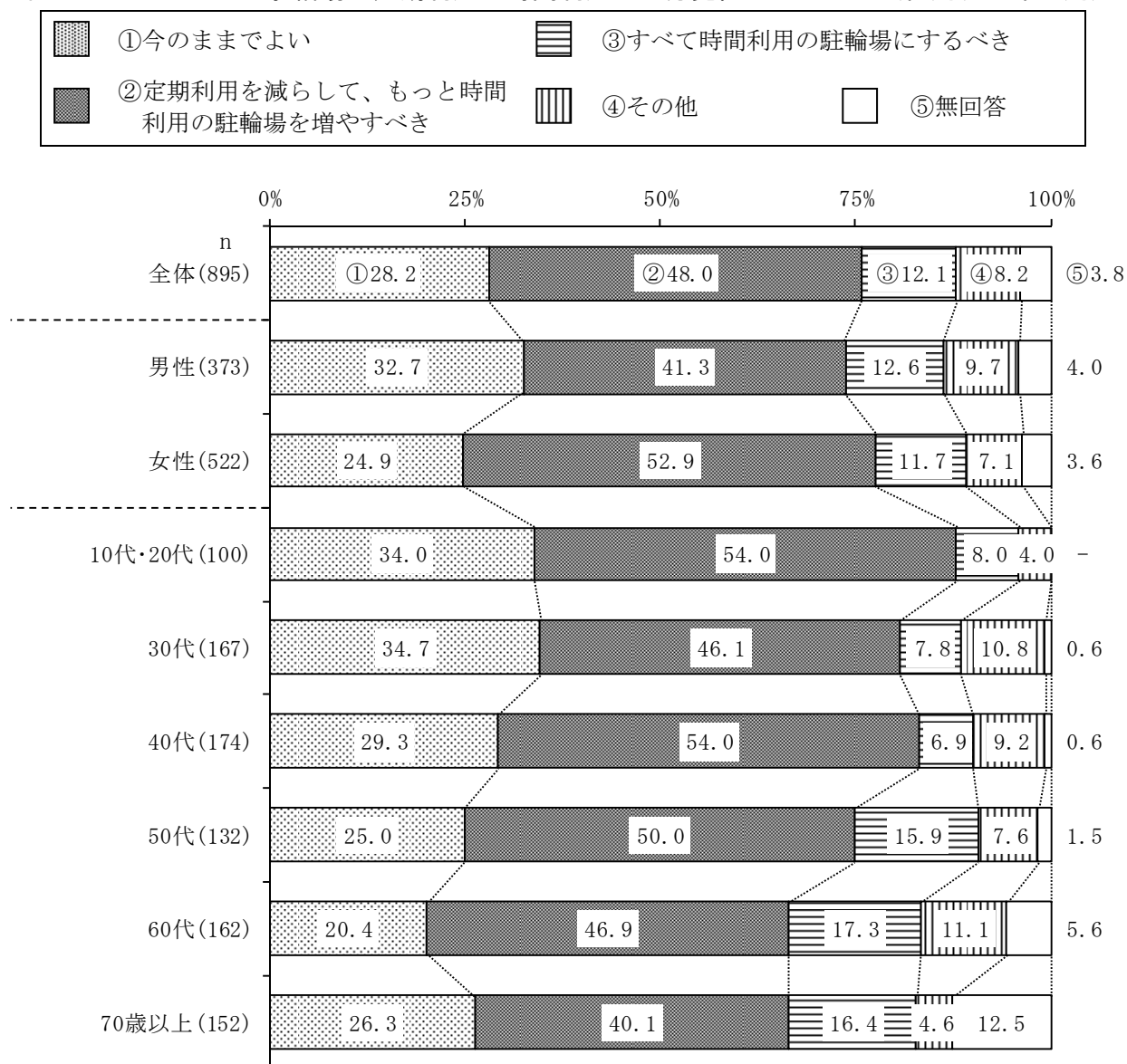
図1-5-7 区立駐輪場の定期利用と時間利用の配分見直しについて



区立駐輪場の定期利用と時間利用の配分見直しについて聞いたところ、「定期利用を減らして、もっと時間利用の駐輪を増やすべき」（48.0%）が4割台半ばを超え最も割合が高く、以下、「今のままでよい」（28.2%）、「すべて時間利用の駐輪場にするべき」（12.1%）と続いている。

（図1-5-7）

図1-5-8 区立駐輪場の定期利用と時間利用の配分見直しについて（性別及び年代別）



性別及び年代別で見ると、性別では「定期利用を減らして、もっと時間利用の駐輪場を増やすべき」で、女性（52.9%）が男性（41.3%）を11.6ポイント上回っている。

年代別で見ると、「定期利用を減らして、もっと時間利用の駐輪場を増やすべき」で、40代（54.0%）と10代・20代（54.0%）が4割半ばで最も高い割合を示し、50代（50.0%）とともに5割以上の割合となっている。（図1-5-8）

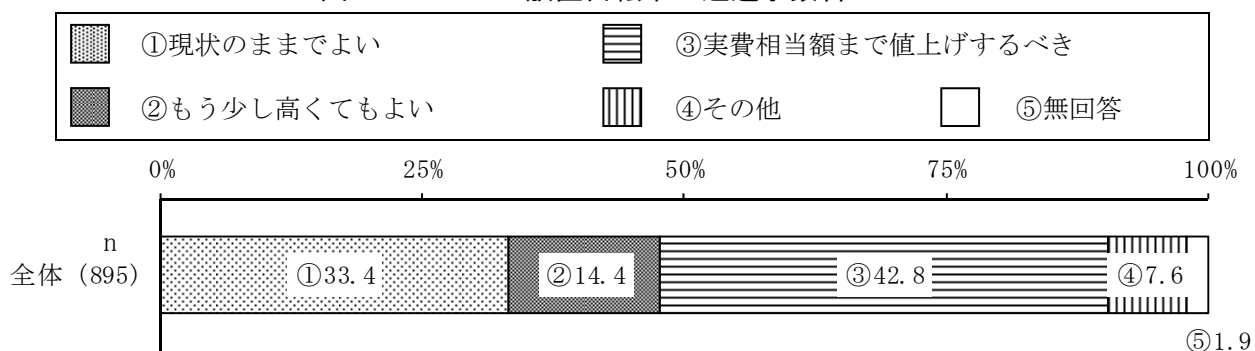
Ⅱ 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

（6）放置自転車の返還手数料について

◎「実費相当額まで値上げするべき」が4割強

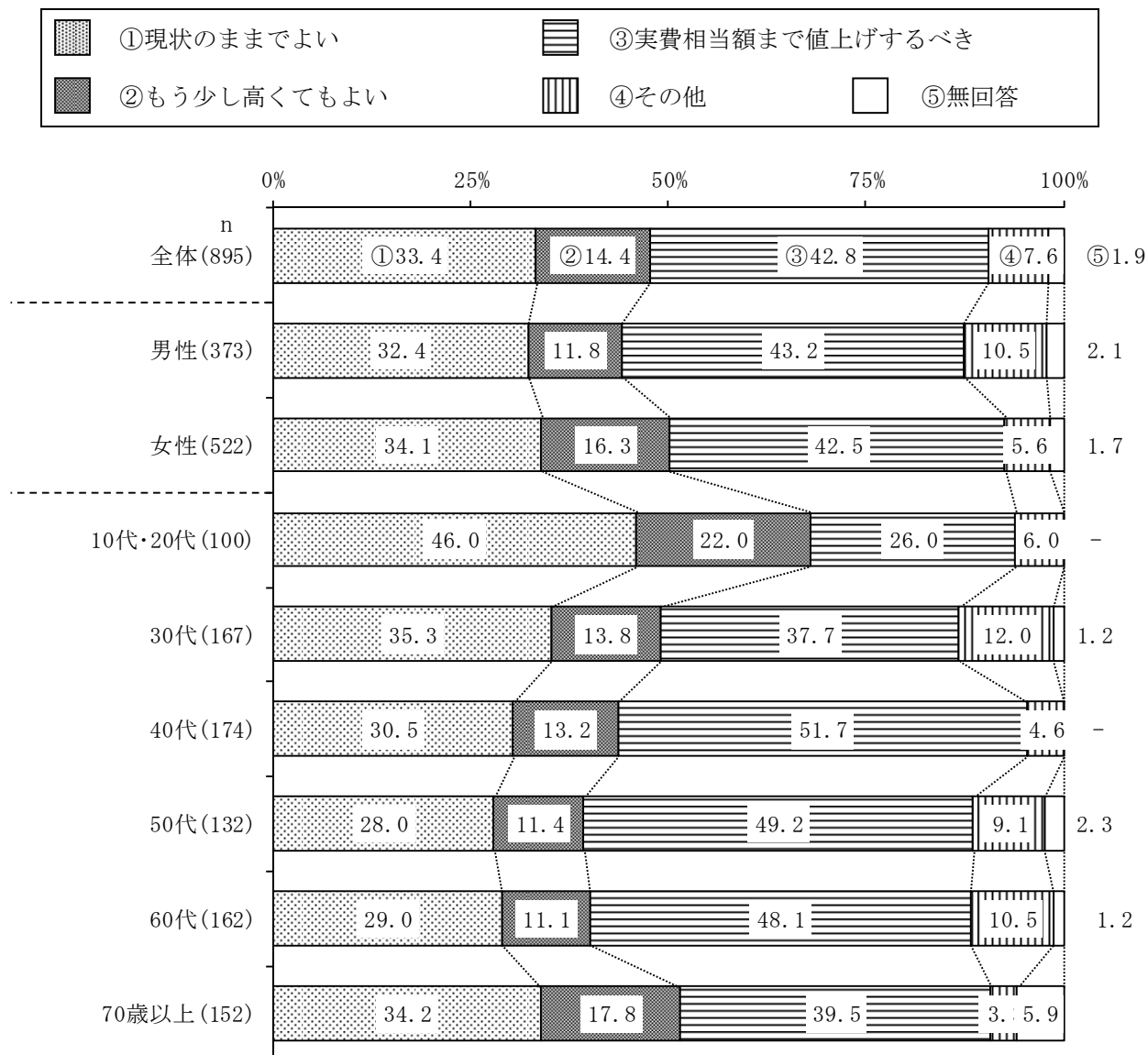
問3 1 放置自転車の撤去や保管には1台あたり約5,500円の費用がかかっていますが、返還手数料は、現在3,000円となっています。返還手数料の金額についてどう思いますか。 あなたの考えに近いものを1つ選んでください。(n=895)	
1 現状のままでよい	33.4%
2 もう少し高くてもよい	14.4
3 実費相当額まで値上げするべき	42.8
4 その他	7.6
無回答	1.9

図1-5-9 放置自転車の返還手数料について



放置自転車の返還手数料について聞いたところ、「実費相当額まで値上げするべき」(42.8%)が4割強で最も高い割合を示し、以下、「現状のままでよい」(33.4%)、「もう少し高くてもよい」(14.4%)の順となっている。(図1-5-9)

図1-5-10 放置自転車の返還手数料について（性別及び年代別）



性別による大きな差異はみられない。

年代別で見ると、「実費相当額まで値上げすべき」では、40代（51.7%）が5割強で最も高い割合を示し、50代（49.2%）、60代（48.1%）とともに5割前後となっている。一方、10代・20代（26.0%）では2割台半ばで、全体（42.8%）を16.8ポイント下回っている。（図1-5-10）

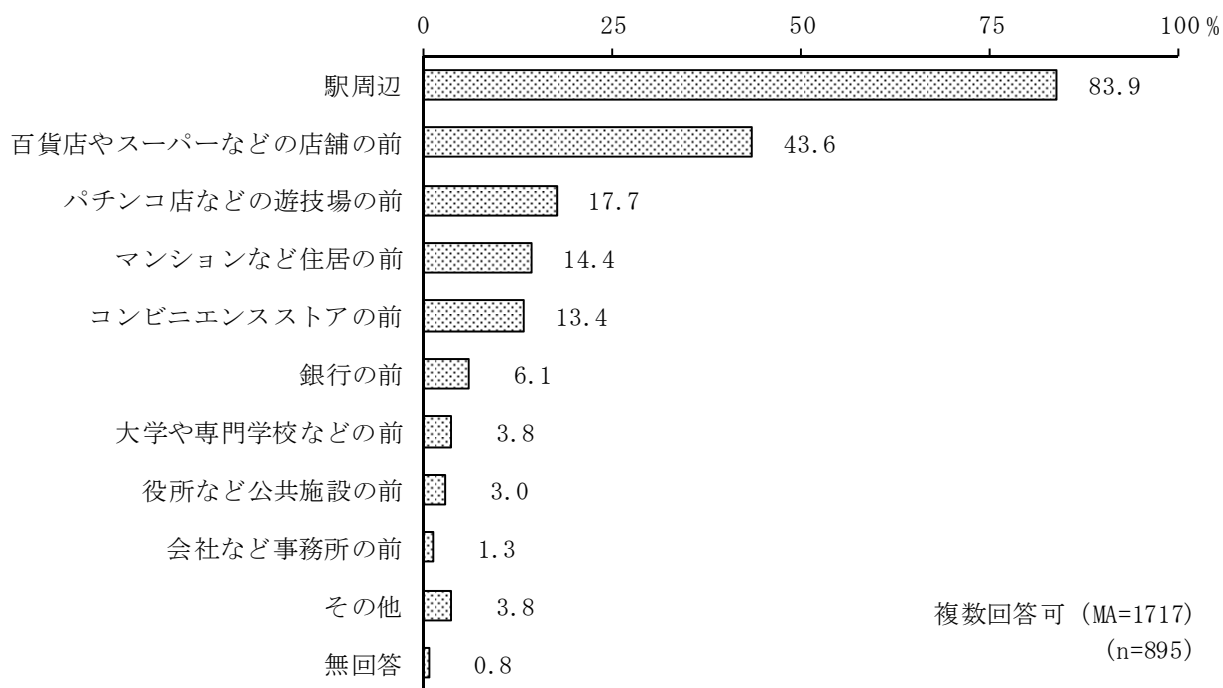
II 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

（7）放置自転車が多いと思う場所

◎「駅周辺」が8割代半ば近く

問3 2 歩行者の通行の障害になったり、街の美観を乱す放置自転車ですが、放置自転車が多いと思う場所はどこですか。あてはまるものを2つ選んでください。（複数回答可）（n=895）	
1 駅周辺	83.9%
2 百貨店やスーパーなどの店舗の前	43.6
3 コンビニエンスストアの前	13.4
4 パチンコ店などの遊技場の前	17.7
5 銀行の前	6.1
6 役所など公共施設の前	3.0
7 大学や専門学校などの前	3.8
8 会社など事務所の前	1.3
9 マンションなど住居の前	14.4
10 その他	3.8
無回答	0.8

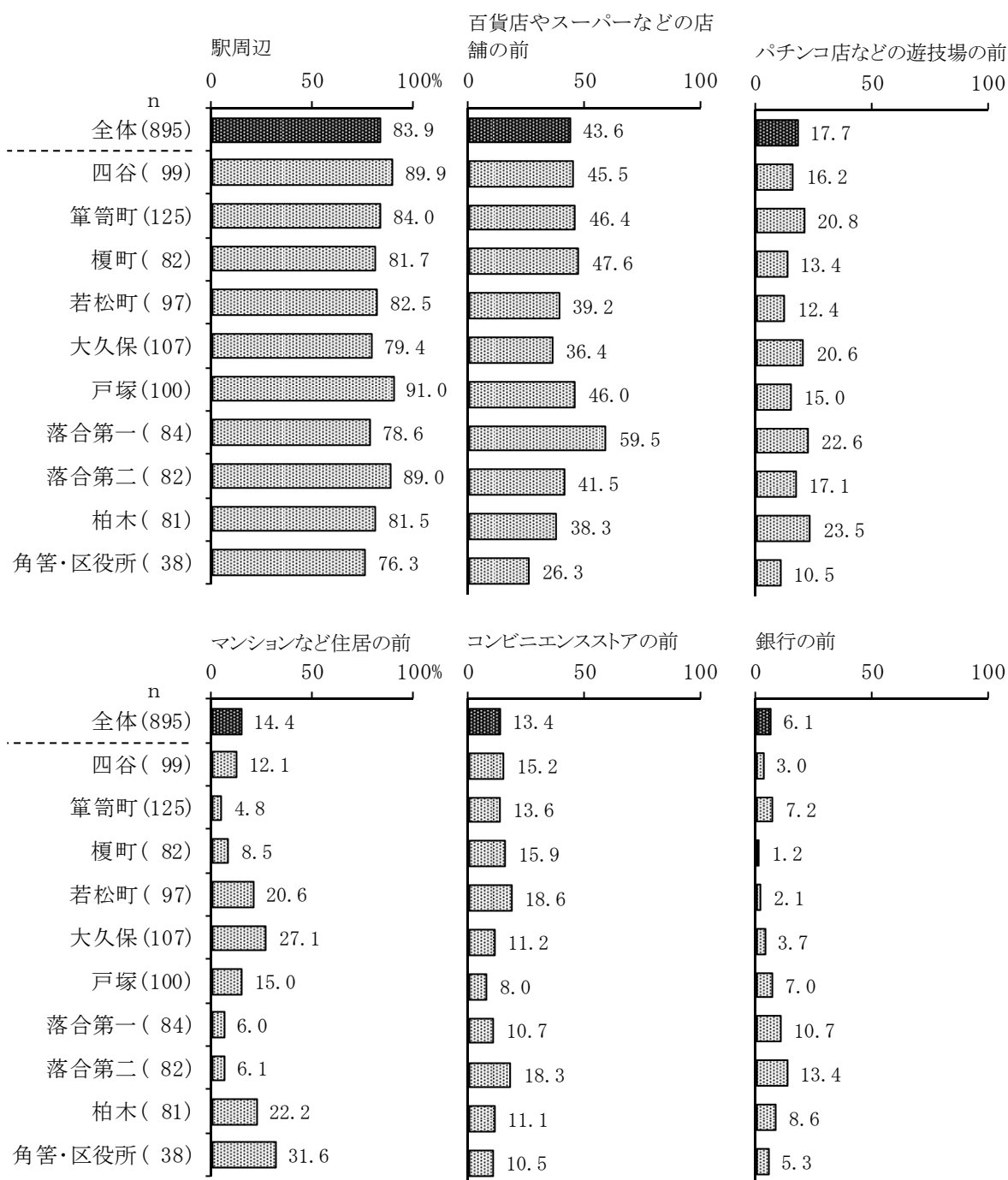
図1-5-11 放置自転車が多いと思う場所



放置自転車が多いと思う場所を聞いたところ、「駅周辺」（83.9%）が8割台半ば近くで最も割合が高く、「百貨店やスーパーなどの店舗の前」（43.6%）が4割台半ば近くで続いている。

（図1-5-11）

図1-5-12 放置自転車が多いと思う場所（居住地域別）上位6項目



上位6項目を居住地域別にみると、「百貨店やスーパーなど店舗の前」は、落合第一（59.5%）が6割弱で最も高い割合を示し、最も割合の低かった角筈・区役所（26.3%）より33.2ポイント上回っている。

「マンションなどの住居の前」では、角筈・区役所（31.6%）が3割強と、全体（14.4%）を17.2ポイント上回っている。（図1-5-12）

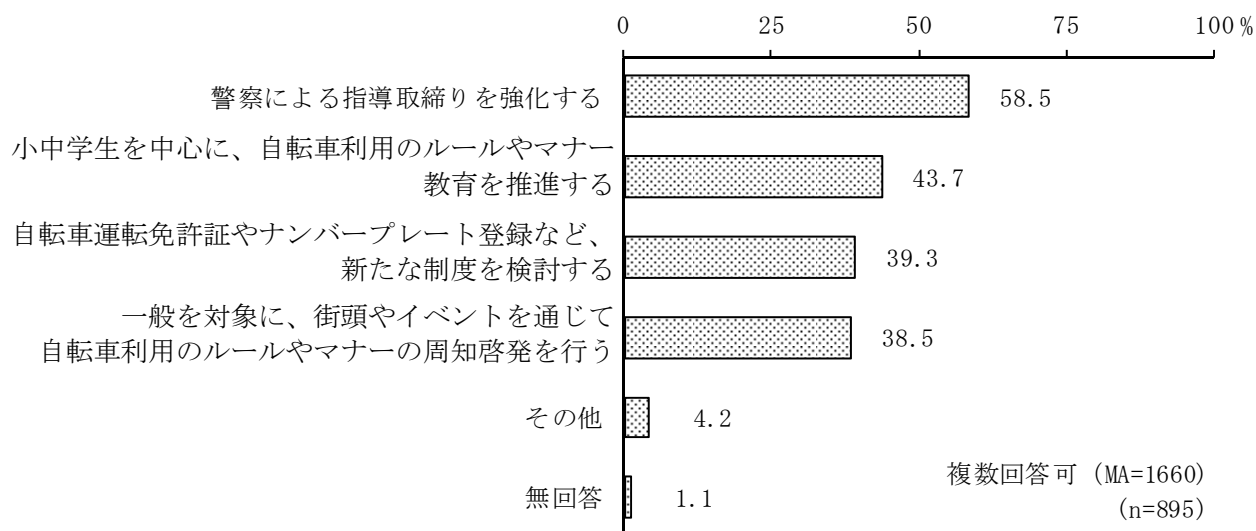
II 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

（8）自転車利用のルール・マナー向上のために効果的だと思うこと

◎「警察による指導取締りを強化する」が5割半ば超

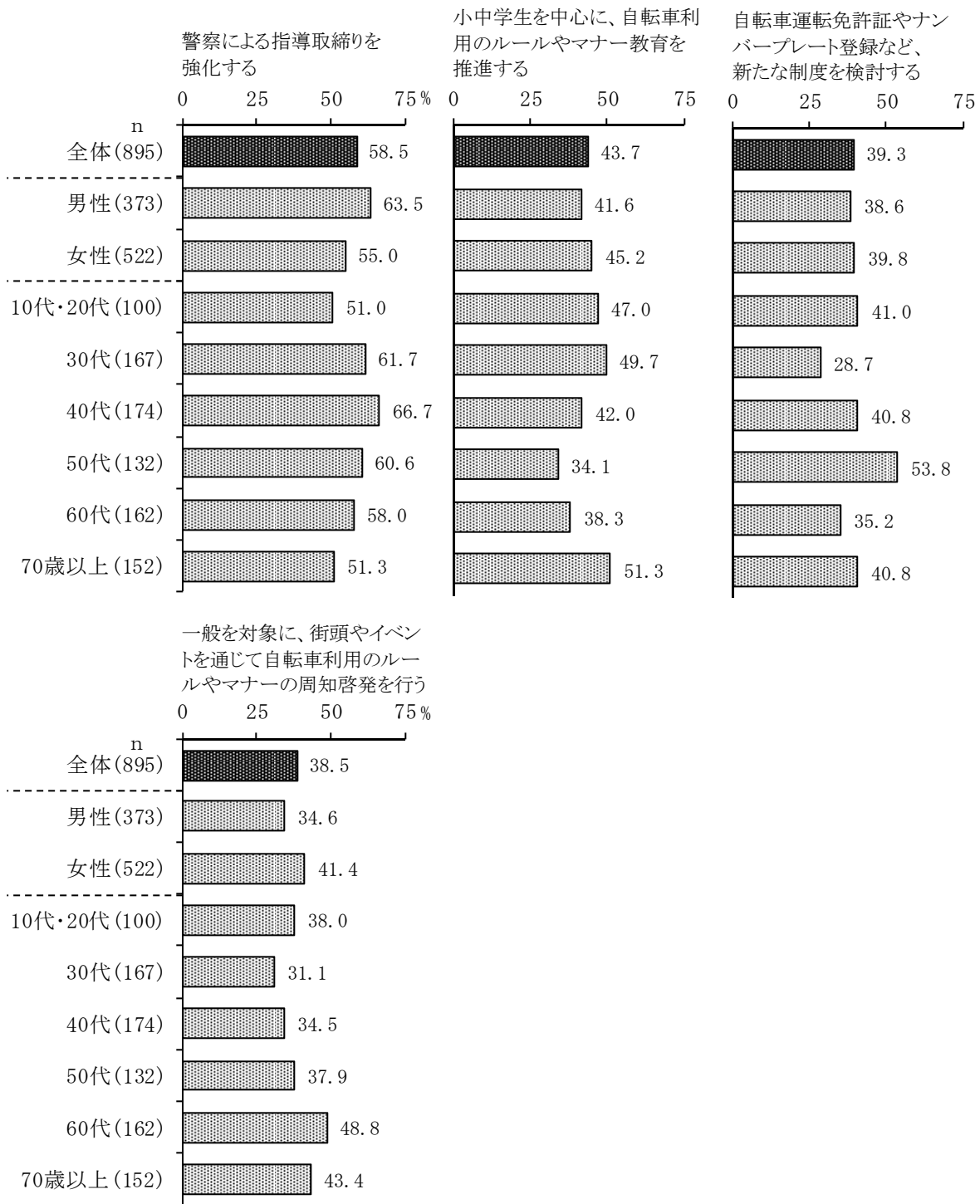
問33 信号無視や携帯電話を操作しながら運転するなど自転車のルールやマナーが社会問題となっています。自転車利用のルール・マナーを向上させるために、効果的だと思うことは何ですか。あてはまるものを2つ選んでください。（複数回答可）（n=895）	
1 小中学生を中心に、自転車利用のルールやマナー教育を推進する	43.7%
2 一般を対象に、街頭やイベントを通じて自転車利用のルールやマナーの周知啓発を行う	38.5
3 自転車運転免許証やナンバープレート登録など、新たな制度を検討する	39.3
4 警察による指導取締りを強化する	58.5
5 その他	4.2
無回答	1.1

図1-5-13 自転車利用のルール・マナー向上のために効果的だと思うこと



自転車利用のルール・マナー向上のために効果的だと思うことを聞いたところ、「警察による指導取締りを強化する」(58.5%)が5割半ばを超え最も高い割合を示し、以下、「小中学生を中心に、自転車利用のルールやマナー教育を推進する」(43.7%)、「自転車運転免許証やナンバープレート登録など、新たな制度を検討する」(39.3%)、「一般を対象に、街頭やイベントを通じて自転車利用のルールやマナーの周知啓発を行う」(38.5%)の順となっている。(図1-5-13)

図1-5-14 自転車利用のルール・マナー向上のために効果的だと思うこと
(性別及び年代別)



性別で見ると、「警察による指導取締りを強化する」で、男性（63.5%）が女性（55.0%）を8.5ポイント上回っている。

年代別では、「自転車運転免許証やナンバープレート登録など、新たな制度を導入する」で、50代（53.8%）が5割半ば近くと、全体（39.3%）を14.5ポイント上回っている。

(図1-5-14)

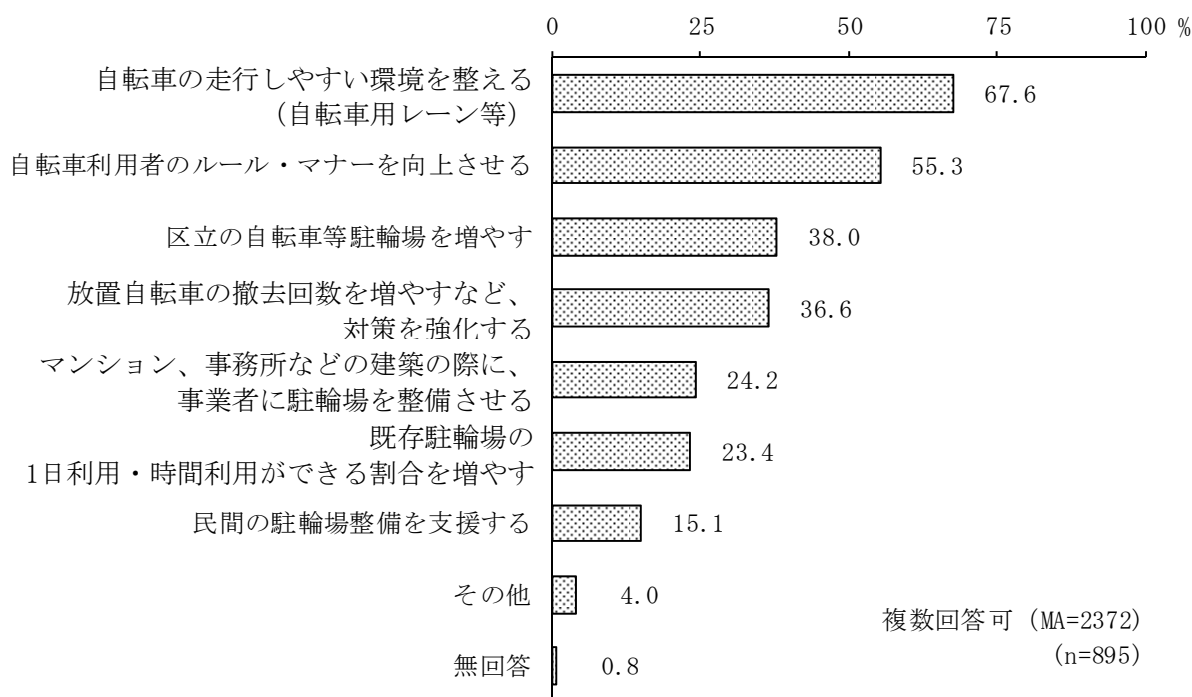
II 調査の結果（テーマ5 自転車利用について）

（9）自転車利用環境に関する区が取り組むべき施策

◎「自転車の走行しやすい環境を整える（自転車用レーン等）」が6割半ば超

問33 今後の自転車に関して区が取り組むべき施策の中で重要だと思うことは何ですか。 あてはまるものを3つまで選んでください。（複数回答可）（n=895）		
1	自転車利用者のルール・マナーを向上させる	55.3%
2	自転車の走行しやすい環境を整える（自転車用レーン等）	67.6
3	区立の自転車等駐輪場を増やす	38.0
4	既存駐輪場の1日利用・時間利用ができる割合を増やす	23.4
5	放置自転車の撤去回数を増やすなど、対策を強化する	36.6
6	民間の駐輪場整備を支援する	15.1
7	マンション、事務所などの建築の際に、事業者駐輪場を整備させる	24.2
8	その他	4.0
	無回答	0.8

図1-5-15 自転車利用環境に関する区が取り組むべき施策

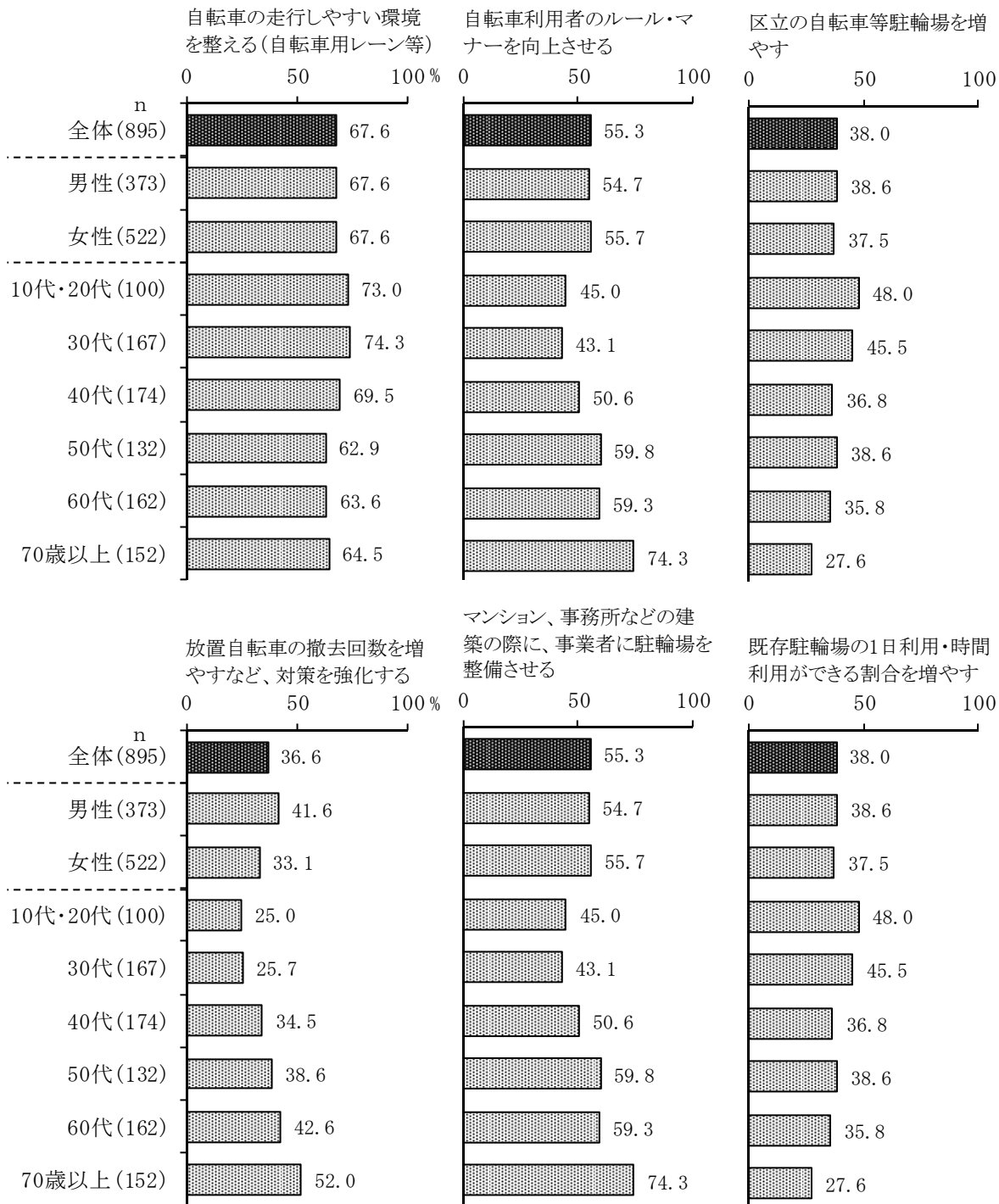


自転車利用環境に関する区が取り組むべきと思う施策を聞いたところ、「自転車の走行しやすい環境を整える（自転車用レーン等）」（67.6%）が6割台半ばを超え最も割合が高く、以下、「自転車利用者のルール・マナーを向上させる」（55.3%）、「区立の自転車等駐輪場を増やす」（38.0%）、「放置自転車の撤去回数を増やすなど、対策を強化する」（36.6%）と続いている。

（図1-5-15）

図1-5-16 自転車利用環境に関する区が取り組むべき施策（性別及び年代別）

上位6項目



性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別にみると、「自転車利用者のルール・マナーを向上させる」では、70歳以上(74.3%)が7割半ば近くで最も割合が高く、最も割合の低い30代(43.1%)との差は31.2ポイントとなっており、年代があがるにつれて、割合が高くなる傾向がみられる。(図1-5-16)